

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表 集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	5	1	・もう少し広いとよい ・狭い印象があるが、スペースを保つ工夫はされている。 ・実際の活動時を見ていない為
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2	1	・職員の交代が続いたことが気になる。 ・有資格でも経験が少ない方もいるのかな、と感じます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	4	1	・玄関が狭い。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20	0	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	・大変すばらしいです。 ・いつも楽しそうで子供が悩んでしまう。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	7	6	・特に希望はない ・そういう機会にまだできていない。 ・そのような機会があること自体、わからない為、どちらともいえないにしました。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2	0	・ときどきよくわからず悩む。 ・利用者負担部分がいまいちよくわからない。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	0	0	・アプリや口頭でよく伝えていただけるので助かります。 ・連絡帳で様子を細かく教えてもらえるので、自宅での生活にも活かしやすく、助かっている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1	0	・親の精神面の負担が大きく軽減された
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	3	0	・機会は少ないですが丁度よい。 ・とても貴重な機会となっている。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	4	0	・何でもお知らせいただいていると思います。 ・特に苦情がなかったため、どちらともいえないです。 ・苦情がないからかもしれませんが、不明です。見逃したのかもですが...
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	0	・アプリとても便利です。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	0	0	・アプリでみてます。
	14	個人情報に十分注意しているか	20	0	0	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	2	0	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	1	0	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が成長し、家で一人で過ごすことも大事にしているため。 ・いろいろな経験ができるので満足している ・通所を励みに頑張る姿があります。 ・とても楽しみにしています。 ・何よりこれが一番うれしく、そのおかげで学校生活も充実してきているようです。
	18	事業所の支援に満足しているか	20	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな経験ができるので満足している ・大変満足しています。もっと多くの困っている方々に利用が広がってほしいです。 ・職員の入れ替わりが多く不安です。 ・いつもお世話になっております。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

・調査期間：2024年1月29日～2月25日

・配布数：26人

・回収数：20人（回収率76.9%）

・自己評価結果公表URL：<https://alternaways.com/about.html>（「オルタナプレイス紹介」ページ下部をご覧ください。）

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	0	3	・階段がある。配慮が必要な利用者はいない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	0	・職員全員で会議・打合せをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	3	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	・週間支援計画にて保護者の方にも重点的な課題を共有している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	・曜日によりクラブは固定しているが、内容は固定しなしよう考案している。利用者の状況により活動内容を変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	0	・情報を共有しながら連絡帳の記録を行っている。 ・可能であれば、全員で振り返りを実施しており、送迎等で全員での振り返りが難しい場合は、必ず翌日に行っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	0	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	1	・該当者なし ・医ケア児の受入は現在ない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	0	・必要な際には訪問する場合がある。 ・新1年生の利用が少ない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	2	・該当する利用者がいないため
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	3	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	0	・年に数回でこぼこワークショップを開催している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	0	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	0	・該当者なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	

2023年度 放課後等デイサービス自己評価票アンケート結果に基づく自己評価

1. 概要

2024年1月29日から2月25日にかけて、保護者および事業所職員に対して標記のアンケートを実施しました。回収は返信用封筒を用いて無記名での回答を求めました。その結果、保護者向けアンケートでは利用者26名中20名からの回答があり、複数の保護者から「どちらともいえない」または「いいえ」との回答があった9項目の内、6項目を改善が必要な項目と判断しました。また事業者向けアンケートは職員全員（常勤4名）に実施し、集計結果に基づき検討した結果、保護者アンケートの結果に即して改善を行うこととなりました。

これらの結果を踏まえ、当事業所における課題および改善目標をとりまとめましたので、その結果を公表します。

2. 保護者向けアンケート

(1) 改善の必要がある項目に関する現状および改善目標（丸数字は質問番号）

※項目末尾の括弧内の数字は、順番に「はい」「どちらともいえない」「いいえ」の回答数。

② 職員の配置数および専門性(17,2,1)

介助を必要とする利用者が多い事業所と比較すると配置数は少ないが、人員配置の基準は満たしている。専門性については、昨年10月以降に入職したスタッフが2名いることから、保護者の信頼を得られるように放デイスタッフとしての経験を積んでいく必要がある。全てのスタッフが、事業所内外の研修や自己研鑽を通して専門性の向上に努めていくことを心掛けていく。

⑦ 支援の内容、保護者負担についての丁寧な説明(18,2,0)

ご意見の内容から判断して、保護者負担について分かりにくい点があると推測される。R6年度の報酬改定により、保護者負担の根拠となる報酬の内容は大きく変わるため、これまで以上に丁寧な説明や資料の提示を行っていく必要がある。

⑩ 保護者同士の連携の支援 (17,3,0)

今年度は昨年度も行っていた年1回の保護者会(土曜日)および家族で参加が可能なレクリエーション(祝日)に加えて、事業所内相談支援加算Ⅱとして、保護者のグループに対する支援(土曜)を行った。アンケートでは回数として「ちょうどいい」という意見があった一方で、こうした会の参加申込時には「参加したいが都合がつかない」という意見も頂いている。日程の周知を早める等、希望する保護者が参加しやすい実施方法を検討する。

⑪ 苦情対応の体制整備および周知 (15,4,0)

ご意見の内容を見ると、「特に苦情がなかったのでどちらともいえない」「苦情がないからかもしれないが、不明です」といった意見があった。苦情対応については外部機関の窓口を含めて契約時に説明しており、現状ではサービス内容や事業所の対応についての要望に関しては保護者と事業所間で確認しているところだが、これらのご意見を受けてあらためて体制についての周知を行うこととする。

⑫ 非常時のマニュアルの整備 (18,2,0)

明文化した緊急時(災害時)対応マニュアル、感染症対策マニュアルについては、今年度中に策定・公表を予定している。防犯マニュアルについては、策定し次第公表する。

⑬ 子どもは通所を楽しみにしているか (17,3,0)

昨年度の回答は(11,4,0)であり、この項目に関しては「はい」と回答した割合が昨年度よりは高くなった。ご意見にもあったように、学年が上がり自宅で1人で過ごせるようになるにつれて、より自由に過ごせる自宅で過ごしたいという気持ちが生じることは、発達段階を考えると自然なことでもある。ただし、当事業所では他の利用者との関わりを通して対人スキルを向上させることを大きなねらいとしており、自宅で自由に過ごす時間とは異なる価値もあることから、各利用者が利用を「楽しみ」にできるようなプログラムを工夫していく。

(2) 複数の保護者から「どちらともいえない」もしくは「いいえ」の回答があったが、改善目標を立てる必要がないと判断した項目およびその理由

① 活動スペースの十分な確保 (15,4,1)

通常の屋内活動には十分なスペースは確保しており、地域の公園等の施設も積極的に活用しているが、利用人数や遊び方によっては全員が満足できる活動スペースを確保できないことがある。建物自体の広さや間取りの制約があるため、具体的な改善は難しい項目だが、引き続き事業所内での遊び場所の分散化や、相談室の遊び場と

しての活用といった対応を行う。

③ バリアフリー化の配慮 (13,4,1)

当事業所は、エレベーターがなく2階にトイレがある戸建て物件であり、身体機能に配慮したバリアフリー化は難しい。当事業所では主に対人コミュニケーション等の社会性の向上をねらいとした支援を行っており、トイレが2階にあることによる問題は生じていないため、現状のままで差し支えないと考える。

また退所時の保護者のお迎えが増えたことから、玄関の狭さに関する指摘があった。玄関の広さ自体は変えられないため、退所する利用者が玄関に集中することなくスムーズに退所できるように声掛け等を行っていく。

⑥ 児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会 (7,7,6)

当事業所の利用者は、通常学級もしくは支援学級に在籍、あるいは当事業所と児童館を併用しているため、障害のない子どもと活動する機会はずでに確保されている。

3. 事業者向けアンケート

(1) 改善の必要がある項目

結果を共有し意見交換した結果、上記「2. 保護者向けアンケート(1)改善の必要がある項目に関する現状および改善内容」に関連する項目について、重点的に改善を図ることとなった。

以上